

平成19年5月22日
溶学研第19 - 17号

委員各位

社団法人 溶接学会
軽構造接合加工研究委員会
委員長 菅 泰雄
JIW No.3 委員会
委員長 里中 忍
(公印省略)

開催案内

第77回軽構造接合加工研究委員会を下記の通り開催いたしますので、万障お繰り合せの上、ご出席下さいますようにご案内申し上げます。

なお、ご出欠は、回答欄にご記入の上、e-mail(s_kogure@tt.rim.or.jp)にて

平成19年6月4日(月)までにお知らせ下さい。

記

1. 日時

平成19年 6月 11日(月) 10:40 ~ 15:50

2. 場所

(財)東京都中小企業振興公社(東京都立食品技術センター)
3F 第1会議室(案内図参照)

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 1-9 TEL:03-3257-0741(代表)

3. 幹事会開催のお知らせ

当日もしくはメールにてお知らせいたします。

役員及び幹事(またはその代理)の方は是非ご出席下さい。

4. 懇親会のお知らせ

講演終了後、近隣にて懇親会を行います。是非ご参加下さい。

参加費：¥2,000

支払方法：当日現地にてお支払い下さい。

領収書をご用意しております。

(なるべくおつりのないようご用意お願い致します)

質疑は、自由討論の場にしたいと思います。活発なご質問、ご意見をお待ちしております。

一事業所から3名以上ご出席いただく場合には、3名目の方から参加費として、1名につき2,000円納入願いますのでご了承下さい。なお、この場合には、あらかじめお知らせ下さい。

特集テーマだけでなくこれ以外の発表資料も募集しております。発表していただける方は事務局または幹事までご連絡下さい。現場ニュース、研究速報も歓迎いたします。

昼食は、各自ご用意下さい。

【軽構造接合加工研究委員会 INFORMATION】

軽構造接合加工研究委員会では、委員会情報のWWWサービスを行っております。
次のアドレスにアクセスしてみてください。

<http://www.cda.ics.saitama-u.ac.jp/jws-MP/>

ただし、これには本研究委員会参加委員のみ限定のサービスも組み込まれています。このサービスを受けるにはパスワードが必要です。溶接学会事務局に会社名、申込者名及び e-mail アドレスを付けてお問い合わせ下さい。後日 e-mail を通じて個別にお知らせします。

【書籍販売】 ご希望の方は事務局へお問い合わせ下さい

抵抗溶接研究委員会(軽構造接合加工研究委員会の前身)及び抵抗溶接研究討論会の配布資料一覧表
一冊¥1,000(送料別)で頒布しております。

各参加委員会社の便に供するようにしております。この一覧表には、抵抗溶接研究委員会分の全資料 377 件と研究討論会分の全資料 141 件のタイトルと著者名、及びページ数と図表数がまとめてあります。

アルミスポット溶接分科会の成果報告書(『アルミニウム合金板とアルミ鋳物の接合技術』)

平成8年7月10日に開催しました資料を販売しております。

委員会委員には特別価格1冊 5,000 円(送料別) < 一般販売価格:¥12,000- >

共同調査結果の生データも分かり易く整理されて多数掲載されていますので、ご購入されれば有用な資料となると思われます。

(JAAA 2002) 資料「21 世紀の自動車における接合技術」

平成14年7月25日に開催しましたシンポジウム資料を販売しております。

資料集1部	5,000 円
同 CD-ROM1枚	5,000 円
資料集1部+CD-ROM	6,000 円(各税込・送料別)

(JAAA 2005) 資料「21 世紀の自動車における接合技術」

平成17年10月13～14日に開催しましたシンポジウム資料を販売しております。

資料集1部	5,000 円
同 CD-ROM1枚	5,000 円
資料集1部+CD-ROM	6,000 円(各税込・送料別)

第77回軽構造接合加工研究委員会プログラム

- アーク溶接・ろう接およびその他の接合技術 -

1. 日時 : 平成19年 6月 11日(月) 10時40分～15時50分
2. 場所 : (財)東京都中小企業振興公社(東京都立食品技術センター) 3F第1会議室
3. プログラム(都合により,若干変更される場合がありますので,予めご了承をお願い申し上げます.)

時間	題 目	講演者
10:40～ 11:20	「プラズマ・アークハイブリッド溶接技術の開発」 (MP-418-2007)	池田倫正, 松下宗生 片岡時彦, 小野守章 (JFE スチール株)
	アーク溶接継手の疲労強度は溶接ビード止端部形状に起因する応力集中に大きく影響される。そこで,溶接ビード止端部形状の平滑化による疲労強度に優れた継手を1パス高速溶接で得ることを目的に,プラズマ・アークハイブリッド溶接技術を開発した。本報告では,本溶接技術によるビード形成現象と高張力薄鋼板重ね隅肉溶接継手の疲労強度に関して報告する。	
11:20～ 12:00	「C/C複合材 - Ti異種ろう付における ろう材のC/C複合材基材侵食」 (MP-419-2007)	池庄司敏孝(東京工業大学) Yury A. Flom (NASA Goddard Space Flight Center)
	2010年代の月面基地設営に向けたC/C複合材と各種軽金属の接合技術として,ろう付が有望である。C/C複合材に対する各種活性金属ろう材のぬれ試験を実施し,最適と考えられるろう材を用いて,C/C複合管とTi管をの炉中ろう付を行った結果とろう付継手部の微細組織観察の検討する。	
12:00～ 13:10	昼食および休憩(幹事会の開催)	
13:10～ 13:30	委員会(軽構造接合加工研究委員会・J1W委員会)議事	
13:30～ 14:10	「亜鉛めっき鋼板のレーザブレイジング現象 およびピット生成機構の解明」 (MP-420-2007)	片山聖二, 木村静太, 水谷正海 (大阪大学接合科学研究所) 武村伸介(日産自動車)
	亜鉛めっき鋼板に対してYAGレーザブレイジングを行い,表面のきれいなブレイジングを得るための条件,ピット生成機構およびポロシティ生成機構について明らかにした結果を紹介する。	
14:10～ 14:50	「MIGアークブレイジングの継手性能に関する検討」 (MP-421-2007)	西村仁志, 王静波, 藤井孝治, 清水一巳 (松下溶接システム株) 片山聖二 (大阪大学接合科学研究所)
	MIGブレイジングによる突合せ継手の検討と溶融銅系金属の粒界浸入挙動の検討結果を紹介する。	
14:50～ 15:10	休 憩	
15:10～ 15:50	「アルミニウム合金 - ステンレス鋼大気中 ろう付における施工指針」 (MP-422-2007)	池庄司敏孝, 山崎敬久 鈴村暁男(東京工業大学) 劉樹英(洛陽大)
	従来困難とされてきた大気中でのアルミ合金 - ステンレス鋼のろう付をフラックスを用いて行い,ろう層の急速な等温凝固がこれらの大気中ろう付を困難に見出した。そこでろう層中の元素拡散と凝固現象を数値解析し,等温凝固反応に要する時間を概算し,アルミ合金 - ステンレス鋼大気中ろう付における施工の指針を示す。	
16:30～	表彰式・懇親会	

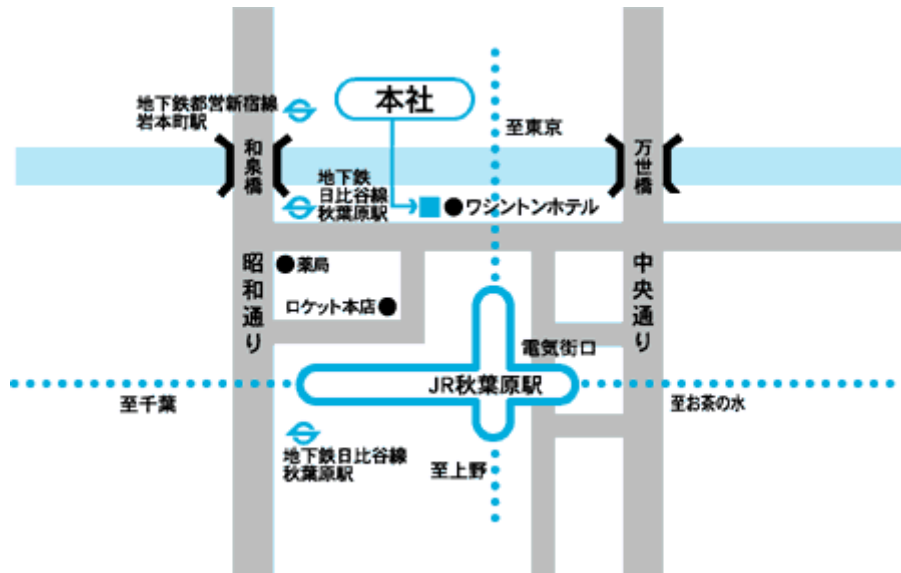
:講演者

(財)東京都中小企業振興公社 案内図

[所在地]

〒101 - 0025 東京都千代田区神田佐久間町1 - 9

TEL. 03(3257)0741



[交通機関]

JR 線・地下鉄日比谷線秋葉原駅 徒歩3分

地下鉄新宿線岩本町駅 徒歩5分

(財)東京都中小企業振興公社 案内図

(<http://www.tokyo-kosha.or.jp/koshaannai/akibahall.html>)